

一日保育士体験の効果～保護者のアンケート分析より

○高木早智子 高田綾 大谷光代 浅川弘子 保泉裕美 滝本真理子 園部浅子（親心を育む会）

目的：一日保育士体験の効果を測る

埼玉県の保育関係者有志の会「親心を育む会」と会員園では、2007年以來、子どものため、親子の絆づくりのために取り組んできた。「一日保育士体験」もそのひとつである。保護者が1日を園の中で過ごす「一日保育士体験」の効果は大きく、会員園の中でも毎年恒例の保護者支援の行事であった*1。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、2020年から「一日保育士体験」を自粛せざるを得ない状況となる。2023年5月に同感染症が5類感染症移行となったことを受け、感染対策に留意しながら再開された「一日保育士体験」。3年という自粛期間を経て、改めて今回、「一日保育士体験」の効果を保護者のアンケート分析から明らかにすることが本研究の目的である。

方法

調査期間は2023年6月下旬～2024年3月末。調査対象は「親心を育む会」役員の園とその姉妹園である埼玉県内の保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業所の13園で、一日保育士体験を実際に行った保護者。一日保育士体験終了直後、または遅くともその日のうちに、Googleフォームでアンケートに回答。アンケート内容は、以下の通り。

1. 保育士体験を終えて、今の率直な気持ちをお答えください（複数回答可）
○楽しかった ○大変だった ○大変ではなかった ○有意義だった ○疲れた ○難しかった ○疲れは感じない ○つまらなかった ○不快だった ○その他
2. 一日保育士体験を…
またやりたいと思う①～⑥もうやりたくないと思う
3. 今回の保育士体験をする前、この体験について正直なところ、どう思っていましたか
まったくやりたくなかった①～⑥とてもやりたかった
4. 一日保育士体験で、園での我が子の姿には、自分の知っている我が子の姿と違っている面があった
特に何もなかった①～⑥たくさんあった
5. 4で少しでも「あった」と感じた方に質問です。それはどのようなことですか？（自由記述）
6. 保育士体験をしたことで、我が子と他の子どもの成長発達について…
これまで知っていた以上の気づきはなかった①～⑥これまで気づけなかった新しいことに気づけた
7. 保育士体験をしたことによって、次の子ども（第2子、第3子、それ以上）を持ちたいと思いましたが
特に思わなかった①～⑥とてもそう思った
8. 保育士体験をしたことによって、子どもとのかわり方について得られたヒントが…
特に何もなかった①～⑥たくさんあった
9. 8で少しでも「あった」と感じた方に質問です。それ

はどのようなことですか？（自由記述）

10. 保育士体験をしたことによって、園での一日の生活の流れを…
まったく把握できなかった①～⑥とても把握できた
11. 園での給食は子どもの発達に合わせて提供されていると思いませんか
まったくそう思わなかった①～⑥とてもそう思った
12. 保育士体験をしたことによって、保育者の仕事内容についてこれまで以上に…
知ることができた①～⑥知ることはできなかった
13. 保育士体験をしたことで、担任等、園の職員と話をしやすくなったと思いませんか？
とても話しにくくなった①～⑥とても話しやすくなった
14. 保育士体験をしたことで、安心して園に預けることができているという気持ちが…
とても弱くなった①～⑥とても強くなった
15. あなたの事を教えてください：子どもとの関係
○子どもの母親 ○子どもの父親 ○その他
16. あなたの事を教えてください：年齢
○20歳未満 ○20歳代 ○30歳代 ○40歳代 ○50歳代 ○50歳代以上 ○答えたくない
17. あなたの事を教えてください：体験したお子さんの令和5年4月1日時点での年齢（同日に複数のお子さんで体験された場合は、メインで体験されたお子さんの年齢）
○0歳 ○1歳 ○2歳 ○3歳 ○4歳 ○5歳
18. あなたの事を教えてください：一日保育士体験の体験回数（今回を含む）
○初めて ○2回目 ○3回目 ○4回目 ○5回目以上
19. あなたの事を教えてください：体験した園の形態
○保育所・保育園 ○幼稚園 ○認定こども園 ○小規模保育事業所 ○不明
20. あなたの事を教えてください：体験した園の定員規模（大体で結構です）
○20人以下 ○～40人 ○～60人 ○～90人 ○～120人 ○120人以上
結果を集計ののち、分析を行った。

結果

2023年12月15日時点での回答数は459人。内訳は、子どもの母親が351人（76.6%）、父親が106人（23.1%）、その他が1人（0.2%）であった。
一日保育士体験の回数は、初めてが194人（42.4%）と最も多く、2回目105（22.9%）、3回目61（13.3%）、5回目以上60（13.1%）と続く。
体験したクラスの子どもの年齢は5歳児が120人（26.2%）と最も多く、0歳児が22人（4.8%）と最も少なかった。2、3、4歳児はそれぞれ全体の15～19%弱ずつを占めた（表1）。

表1. 体験した子どもの年齢

0歳児	22人(4.8%)
1歳児	74人(16.2%)
2歳児	86人(18.8%)
3歳児	73人(15.9%)
4歳児	83人(18.1%)
5歳児	120人(26.2%)

保育士体験をする前の率直な気持ちを「1. まったくやりたくなかった」から「6. とてもやりたかった」の6段階の回答尺度で問うたところ、「6. とてもやりたかった」との回答が147人(32.1%)、次点の「5」の118人(25.8%)を合わせると6割弱を占めた(図1)。

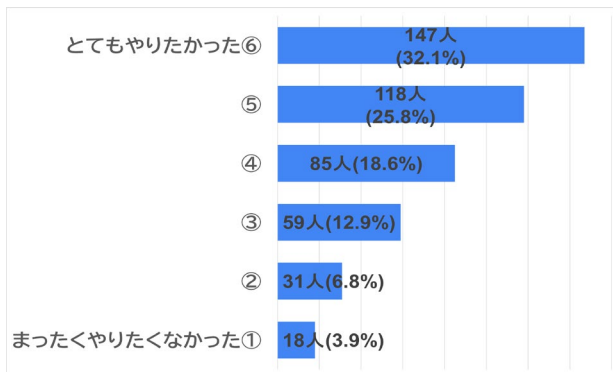


図1. 体験前の率直な気持ち

体験後の「1. またやりたいと思う」から「6. もうやりたくないと思う」は、「1. またやりたいと思う」が266(60.9%)となった。

子どもの事については、「自分の知っている我が子の姿と違っている面があった」(図2)、「我が子と他の子どもの成長発達について新しいことに気付けた」「子どものかかわり方について得られたヒントがあった」という質問それぞれに対し、「あった」と答えた割合がいずれも8割近くを占めた。

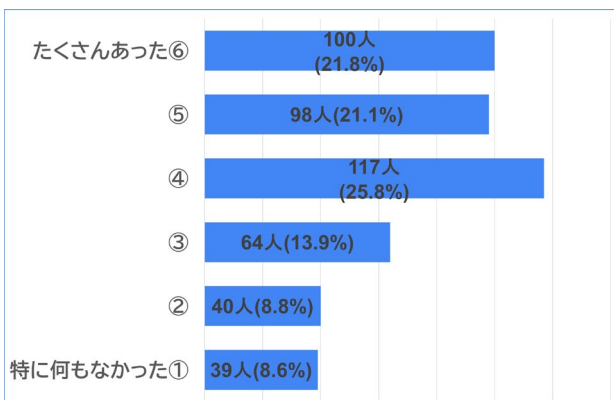


図2. 「自分の知っている我が子の姿と違っている面があった～なかった」

さらに、園に対しても、「園での一日の生活の流れを把握できた」「給食は子どもの発達に合わせて提供されていると思う」「保育者の仕事内容についてこれまで以上に知ることができた」「体験をしたことで、園の職員と話をしやすくなったと思う」という問いに8割近くが「できた」

「思う」と回答。「体験したことで、安心して園に預けることができているという気持ちが強くなった」と9割近くが回答した(図3)。

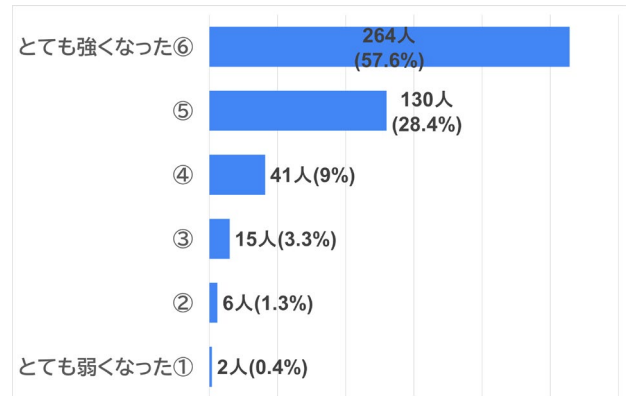


図3. 体験したことで安心して園に預けることができている気持ちが強くなった～弱くなった

考察

これは現時点(12月15日)のデータであるため、2024年3月末までのデータが揃い次第、分析をさらに重ねていくこととする。

今回、44%が初めての参加だったことは、新型コロナウイルス感染症の流行のもと、それまで以上に子どもの園での姿を見ることができなかった保護者が、この機会に積極的に参加してきたことを示していると言え、一日保育士体験に対する変わらぬ関心の高さが実際の数字からもうかがえた。また、事前の期待感も非常に高かったようである。事前の期待感が低かった(やりたくなかった)約2割の保護者が、参加後にどのように感じたかは、今後の分析の重要な点であろう。

「親心を育む会」の会員園では、日頃から、保護者の子どもとの関わりを増やすような働きかけをしており、保護者は自分の子どもの姿をよく見ていると想定された。しかし、アンケートでは、7割近い保護者が「自分の知らない子どもの姿を見ることができた」と答えており、集団保育の場に保護者が参加し、集団の中での子どもの姿を見る大切さも示唆された。子どもが社会性を獲得し始める3歳以上で、参加したクラス(年齢)によってこの回答が違うかどうか、次の分析点となる。

新型コロナウイルス感染症の流行を経ても、保護者にとってこの「一日保育士体験」は園と家庭双方にとって良い効果をもたらすことがアンケート結果から明らかになった。「一日保育士体験」を導入しようとする際、園が懸念する「働いている保護者にとって、仕事を1日休んで園に来るのは抵抗があるのではないか」という点も、今回のアンケート結果を見る限り杞憂であるとわかる。なにより、一日保育士体験を通じて、保護者が園に対する安心感を強めた点は特筆に値する。

今のところ、概ね好意的な回答が多いが、自由記述の分析や、保護者の性別、子どもの年齢、体験回数等とのクロス集計など、より詳しい分析を今後行い、保護者の変化等を明らかにしていきたい。

*1 「一日保育士体験のすすめ 保育園で育む親心」 親心を育む会大修館書店2012年